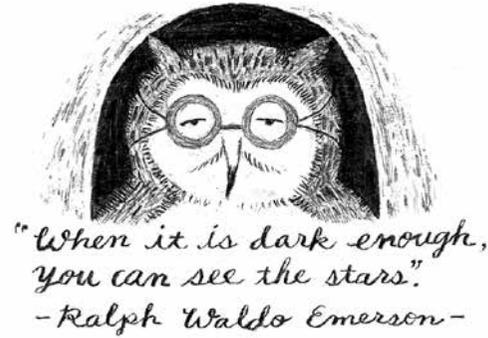


# 2016年度 センター試験の 分析と対応

渡辺 聡

東京学芸大学附属特別支援学校



## 筆記試験

### 1. 全体的な傾向

今年のセンター試験 [筆記] でもコミュニケーション能力と読解力を試す出題がなされた。設問形式が若干変わった箇所はあるが、全体的な傾向は変わらず、例年通り基本的な問題が多かった。平均点は112.43と、昨年度の116.17より下がり、ここ10年で最低となった。総語数は昨年度より約100語減り、4300語弱となった。

コミュニケーション能力をみる問題としては、  
第1問A：単語をきちんとした音で発話する能力  
第1問B：単語を正しいアクセントで発話する能力  
第2問C：ある発言に対し、適切な応答を考える能力  
第3問A：対話がスムーズに流れるように、適切な発話を考える能力  
第3問C：発言の内容を要約する能力  
が例年通り求められている。

また読解力では、  
第3問B：パラグラフ単位で文章の構成を論理的に思考する能力  
第4問：グラフや図表、説明文を参考にして文章を正確に読み取る能力  
第5問：長文の物語を読み、内容を正確に把握する能力  
第6問：論説文の流れを正確に追い、各パラグラフの主旨をつかみながら長文を読み取る能力が試される。いずれも文章の全体的な流れをつかんだ上で、的確な情報を読み取る日頃の学習姿勢が問われる。

### 2. 具体的内容分析

#### <第1問>

形式と問題数、配点は昨年度と同じ。

#### A 発音 (6点：解答数3)

基本的な単語の発音 (母音が2問、子音が1問) を問う問題。カタカナにしたときの発音に惑わされやすい語 (tiger [問1]、curtain [問3]) も例年通り複数出題された。スペリングが同じでも発音が異なるものに注意を払いたい。

#### B アクセント (8点：解答数4)

単語のアクセントのある箇所を問う問題。昨年度と同様、今年度も2、3、4音節の語が出題された。アクセントのある個所に惑わされやすい語 (politics [問2]、charity, demonstrate [問3]、agriculture [問4]) も例年通り出題される等、個々の語の正確なアクセントが問われる。

#### <第2問>

形式と問題数、配点は昨年度と同じ。

#### A 語彙、語法、文法 (20点：解答数10)

語彙、イディオム、動詞の用法等を判断する問題。時制 ([問1] [問9]) や分詞 ([問3])、仮定法 ([問8]) は頻出である。イディオムやコロケーションの力を併せて要求する問題 (neither + V + S [問4]、make sure (that) + S + V [問5]) も多い。基本的な副詞や形容詞 ([問6] [問7])、仮主語 ([問10])、関係詞、不可算名詞や接続語等の幅広い知識も合わせ持っておきたい。

#### B 語句整序 (12点：問数3、解答数6)

各文の中に含まれる語彙・語法を用い、意味の通る文にする問題。動詞の用法 (be wondering if + S + V [問1]、let + O + 原形不定詞 [問2]、come to

～[問3]) は必出である。文法 (仮定法や付帯状況等) も併せて確認しておきたい。

#### C 応答文完成 (12点：解答数3)

与えられた語句を組み合わせ、対話に即した文にする問題。文法や語法の知識だけでなく、Come on! [問2] 等の発言から、対話の流れも考える。

#### <第3問>

形式と問題数、配点は昨年度と同じ。

#### A 対話文完成 (8点：解答数2)

対話文を完成させる問題。空欄と同じ内容を相手が次のせりふで言っていたり (hide it to put it away [問1])、直前のせりふとほぼ同じ内容を別の表現で表現する (There's little point in even trying. と It'd be a waste of time. [問2])。代名詞 (it [問2]) 本文と選択肢) の指す内容を読み取る力も求められる。会話でよく使われる表現にも慣れておきたい。

#### B 不要文選択 (15点：解答数3)

パラグラフのまとめりをよくするために取り除いた方がよい文を1つ選ぶ問題。まず、第1文からキーワードを読み取る (practical activities [問1]、Trial and error [問2]、Food / satisfies feelings [問3])。不要な文にもキーワードは含まれている場合もあるため、前後の文との関連性に気をつけ、漫然と読み流さないようにしなければならない。

#### C 発言の意図の要約 (18点：解答数3)

複数の人の発言の要旨を選ぶ問題。ある事柄を別の表現で言い換える (help us understand and deal with misunderstandings to cope with cultural misunderstandings [空欄32]) ことが多い。また、各発言者の立場や状況も理解し、(Student 3が Professorの考えを確認している [空欄34])、発言の主旨をまとめる柔軟な読解力が必要とされる。

#### <第4問>

形式と問題数、配点は昨年度と同じ。

#### A グラフ読み取り問題 (20点：解答数4)

グラフを参考に、展開される論からの確かな情報を得る力を問う問題。本文で与えられた情報を順次グラフに当てはめ、確認していく。グラフはあくまでも補助的なものであり、基本は説明文を正確に読めるか、が問われる。In comparison、However等の文と文の関係を示す語 (句) で、論理の流れを正確につかみたい。最終段落に続く話題を考えさせる問題 [問4] も、昨年度に引き続き出題された。

#### B ウェブサイト読み取り問題 (15点：解答数3)

ウェブサイトから適切な情報を読み取る問題。設問を読み、与えられた条件をもとに、合致する情報がどこにあるのかを探し出していく。問いに関する情報は上から順に出てくるわけではないので、設問の求める情報がある箇所 (複数の情報を合わせる場合もある) を的確につかむことが大切である。

#### <第5問> (30点：解答数5)

形式と問題数、配点は昨年度と同じ。

昨年度まではウェブサイト、手紙、メールの内容に関する問題であったが、今年度は物語に関するものとなった。

He ~ sometimes skipping his classes. Little by little John's grades got worse. (本文第3段落) が He lost interest in studying. (選択肢) とまとめられていることを読み取る [問3]。人間関係や場面の状況をつかむとともに、物語で何を一番伝えたいのかを丁寧に読み込んでいく。

#### <第6問> (36点：問数6、マーク数9)

形式と問題数、配点は昨年度と同じ。

各段落の内容を正確に読み取り (設問A)、段落の要旨を順に並べる設問 (設問B) の2本立て。各段落のポイントをつかみ、話がどのように展開し、主題は何か、という広くかつ深い読解力が求められる。また、ここでも、正解の選択肢は本文で使われていない単語や表現で求められる場合も多いので、基本的な類義語を理解する力も必要である。

### 3. 昨年度から変化のあった点

- 第5問の本文の情報源が、二つのウェブサイト、手紙、メールから、単一の物語になった。
- 第6問で、過去2年間載っていたタイトルがなくなり、第6問A問5が、主旨を問う問題から、タイトルを問う問題になった。
- 第6問A問2で、下線部の意味を求める問題が、難しい語やフレーズの意味を類推するものでなく、内容に即した具体的な表現を選ぶものになった。
- 第6問Bで、段落構成を示す言葉がなくなった。

### 4. 日頃の学習で大切なこと

- 多面的に語彙を増やす  
ただ単に単語の1つの意味だけを覚えるというのではなく、英語での定義、反意語、同義語、接頭辞・

接尾辞、品詞の転換、自動詞・他動詞等、語彙を様々な方法で多面的に増やしたい。語彙に関連性を持たせると、未知の語に遭遇したときにも想像力を働かせてなんとか意味がつかめるようになる。カタカナになっている語の英語と日本語の意味の差異や発音・アクセントに注意して覚えるのも1つの方法であろう。

## ②語と語のつながり(語法、Collocation)に関心を持つ

ある単語を頭に入れる際、その語がどのような語と一緒に使われる場合が多いのか、英語としての語と語の自然なつながりに気を配る習慣を身につけておきたい。単独だとイメージしにくかったり、覚えにくいような単語も、自分が理解しやすい組み合わせなら、より効率的に覚えらる。

## ④英語を聞き、自ら口にする

アクセント・強勢・構文(主語と述語の区切れや省略等)に注意を払って日頃から英語を聞き、音読をする。単語一つひとつの音に注意を払い、そして文全体の内容を理解しながら読み進む。何回も繰り返して読み込んでゆけば、なによりも英語の音に対する興味・関心が必ずや増し、同時にリスニング試験の対策にもなり得る。

## ④わからない語があっても、前後関係からその意味を類推する習慣をつける

センター試験では語彙に関する知識が求められる。とはいえ、意味のわからない語は必ず出てくるものと覚悟しよう。すべての単語の意味がわからな

くても主旨は理解できる、と余裕を持って文章を読み進めたい。未知語に出会うとすぐに辞書で意味を調べる読み方をしていると類推力、想像力が身につかなくなってしまう。

## ⑤論理展開を重視した読解力を養う

どんな読み物でも最後まで通して読み、論の展開がどのようになっているかをパラグラフ中心に考える。接続語を手掛かりに、パラグラフがどのように構成されているか全体の論調を捉え、各パラグラフのキーセンテンスを探し、要旨をまとめる。「木を見て森を見ず」にならない大局的な読み方を心がけたい。

## ⑥多読を心がける

80分で4,000語を超える分量の英語を読みこなすには、普段から500～1,000語の文章をある程度のスピードで読むことを習慣とすることが大切である。授業では精読を中心に行っていても、時には様々な分野、テーマ、形式の、比較的易しい文章に多く触れるような機会を与え、分量をこなす読み方も覚えさせたい。

## ⑦場面や内容のイメージをつかむ

会話の応答を考える場合(第2問C、第3問A)、その会話が行われている時、場所、状況等をイメージする力が求められる。その際、途中で展開が変わり、最初に出てきた情報が最後まで同じとは限らない。方向性を予測した上で、最後まで丁寧に流れを確認したい。

きうる身近な話題がテーマになっている。

## リスニング試験

### 1. 全体的な傾向

第3問B、第4問Bの出題形式が変更になった。それに伴い、昨年度まで第4問Bにあった説明文内容Qs & Asは第4問Aになった。解答数、配点は昨年度と同じである。読まれる総語数(1,100語強)は昨年度とほぼ同じ。読み上げ速度は昨年度とほぼ同じで自然な感じであるが、音声面でのリダクションもあり、聞き取りにくい箇所もあったと思われる。問題音声も設問ごとに2回流された。比較的素直に英語の内容を問う基本的な問題であった。平均点は30.81と下がった(昨年度35.39点、一昨年度33.16点)。内容はいずれも生徒の日常生活や学校生活の中で起

### 2. 具体的内容分析

<第1問>対話ビジュアル(12点:解答数6)

❖男女の対話を聞き、適切なイラスト、数字、単語、文を選択する

❖各対話の総語数:30語弱

イラストを選ぶ問題は1問になり、応募用紙の記入欄の位置を問う問題が新たに出题された。数値を聞き取って計算をする問題は昨年度と同じ2問である。最初のせりふで状況をつかみ、2番目～4番目のせりふのキーワードを聞き逃さないようにする。数字を聞き取る設問は2つ出题され((問2)(問4))、

両方とも簡単な計算が必要とされる。また、around, under, above ((問1))、at the bottom right, at the top, above ((問6))等、位置関係を示す語(句)も含まれ、せりふの細部まで集中して聞く姿勢が問われる。not care for (問3)、be due (問4)、be supposed to ~ (問5)等、日常会話でよく使われるフレーズにも慣れておきたい。

<第2問>対話応答補充(14点:解答数7)

❖男女の対話を聞き、最後の発言に対する相手の応答を選択する

❖各対話の語数:約20語～30語

問11

Woman: Would you like some beer?

Man: But, I'm only 20 years old.

Woman: If you're 20, you can drink alcohol in Japan.

選択肢

① I'm not 20 years old yet.

② I'm not 21 years old yet.

③ I thought it was 18, like my country.

④ I thought it was 21, like my country. (正解)

相手の述べたことへの自然な反応を考える。疑問文で終わる対話の設問はなくなった(昨年度は1問)。最初の2つのせりふから、会話の場面や状況を想像できるようにしたい。ここでも、why don't you ~? (問7)、Let's see, (問8)、Guess what? (問9)等、日常会話でよく使われるフレーズが頻出する。

<第3問A>対話内容Qs & As(6点:解答数3)

❖男女の対話を聞き、その内容についての問いを読み、答えを選択する

❖各対話の総語数:約50語

問16

Woman: Angel's new song's great!

Man: Is the CD already out? I thought it was coming out next week.

Woman: Yeah, but the song's available online.

Man: Really? Maybe I should download it now.

Woman: But if you do that, you won't get the booklet.

Man: Oh, I definitely want that! I'd better wait.

質問: What is the man most likely to do?

選択肢

① Buy the CD at a shop immediately.

② Buy the CD at a shop next week. (正解)

③ Download the song immediately.

④ Download the song next week.

5W1Hで始まる質問の答えを対話から探す。せりふの数は5～8。対話を最後まで聞き、状況や流れの変化をきちんととらえる。事前に選択肢を読み、最初のせりふを聞いた段階で場面が想像できるようにしたい。話者が相手に同意しているのかそうでないのかといった話の流れをつかむ力とともに、話者の意図を正確に把握する力も求められる。

<第3問B>対話長文内容Qs & As+ビジュアル(6点:解答数3)

❖長めの対話を聞き、その内容についての問いを読み、答えを選択する+表の空所を埋める)

❖対話の総語数:約150語

聞き得た情報をもとに質問に答えていく。その中には、図表の空所に当てはまる語を考える設問も含まれる。多く出てくる情報の中から、何について話しているか、相手はどう反応しているか、指示代名詞が何を指すのか等を考えながら、求められている情報を確実に押さえたい。

<第4問A>説明文内容Qs & As

(6点:解答数3)

❖説明文を聞き、その内容についての質問を読み、答えを選択する

❖説明文の総語数:約200語

1回目と2回目の読み上げの間に約35秒のポーズがあるので、情報が出揃った段階で各問の答えを絞り、2回目は確認の作業に当てたい。質問文から事前に推測した状況をもとに、出てきた情報を一つ一つ積み重ねてゆき、話の流れに沿って順に問題に当たってゆく。話の流れが変わったり、固有名詞も出てくる場合もあるので、メモを取りながら質問されるポイントの箇所を絞って聞くことも大切である。選択肢では答えとなる語を別の表現で言い換えたり(having an argumentをfightingに)、まとめる場合も多いので、要点をつかむ力も求められる。

<第4問B>会話長文内容Qs & As

(6点:解答数3)

❖3人の会話を聞き、その内容についての質問を読み、答えを選択する

### ❖ 会話文の語数：約300語

問題冊子に書かれている会話の場面と質問文に目を通し、事前にどれだけの状況を想定できるかがポイント。あとは一人ひとりの主張する内容を総合的に理解する力(共通点や相違点)と、求められた情報を正確に取り出す力が必要である。ここでも、選択肢では答えとなる箇所が別の表現で言い換えられていることがある。

### 3. 対応のポイント

#### ① 状況・場面を想像し、話の流れをつかむ

事前に問題指示文、選択肢、イラスト、状況説明文等に目を通し、内容を予測してから英語を聞く。複数の方法が提示され、途中で展開が変わり、最初に出てきた情報が最後まで同じとは限らない。方向性を予測した上で、最後まで丁寧に流れを確認したい。

#### ② 英語特有の表現に慣れる

話の展開がつかめれば自然に聞くことができるが、会話に特有のフレーズは、聞けるだけではなく、意味が自然に頭に入るまで聞き慣れておくようにしておきたい。

#### ③ 言い換えの表現を読み取る

リスニングと言っても選択肢を読み取る力は筆記試験同様に要求される。聞き取る英語の表現がそのまま選択肢に入っているとは限らず、別の形で言い換えてある場合も多くある。正答の鍵となる情報をきちんと整理する力もつけておきたい。

#### ④ 全部完璧に聞き取れなくてもよしとする

筆記試験で英文を一字一句完璧に理解することを求める必要がないのは、リスニングにおいても当て

はまる。リスニングでは、聞き取れなかった箇所でも悩んでしまうと、次を聞き逃すことになる。たとえ理解できなかった部分があってもそのまま流し、「残りからさかのぼって推測すれば良い」と思うくらいの余裕が欲しい。

### 4. 日頃の学習で大切なこと

#### ① 英語の音を聞き、その音を口にする活動を習慣にする

「継続は力なり」と言われるように、1日5分間でも英語を聞き続けることが大切である。様々なメディアを使って英語の音やリズムを継続的に耳に入れておくことを習慣としておいた上で、その音を真似して口に出す活動を続ける。次第に英文の流れが、意味を伴った内容となって頭に残ってくるようになるであろう。

#### ② 聞いた内容を論理的に組み立て、考える力を育てる

リスニング力をつけるには、聞いた音を頭の中で論理的に組み立て直す作業が必要である。教科書等の、ある程度分量がある文章の内容を理解した上で英語を聞いて論の展開をつかむ。そして音読、Qs & As, dictation等の基本練習を日頃から行い、論理的思考力も養っておきたい。

#### ③ 自分のことばで実際に表現する機会を増やす

コミュニケーションを成立させるためには、お互いの考えをきちんと伝え合うことが必要である。相手の伝えたいことを理解し、それに対して自分の意見や考えを、決まりきったパターンではなく、自分のことばで実際に表現する活動を増やしていきたい。

*"You miss 100%  
of the shots  
You don't take."  
-Wayne Gretzky-*

